

## 日本

- ・江戸時代（～1868年）における人形文化の成熟  
ひな人形、市松人形、土人形、活人形など
- ・上村露子 フランス人形を広める
- ・イルフトイス〈川崎プッペらが参加〉や  
どんたく社〈竹久夢二〉の結成（1927年）
- ・童宝美術院設立／「人形芸術運動」（1930年）
- ・第1回帝展で人形作品が入選（1936年）
- ・平田郷陽 球体関節人形制作（松岡映丘・1935年）
- ・平田郷陽「嗟嘆」でヌード・悲しみを表現する  
（1938年）

## 西洋

1850年  
～  
1900年  
  
1920年  
  
1930年～

- ・ビスクドール工房の興隆（ジュモー、ブリュ、S.F.B.J）
- ・パリ万博開催（1867年）
- ・ウィーン万博開催（1873年）
- ・ブードゥワール人形（仏）
- ・ベルメール『人形』出版（1936年）

## 1941～1945年 第二次世界大戦

- ・土井典 ベルメールのレプリカ制作（1968年）
- ・四谷シモン初個展（1973年）
- ・NHK「新八犬伝」人形美術 辻村寿三郎  
（1973～1975年）
- ・三輪輝子 創作ビスク制作開始（1978年）
- ・恋月姫 制作初発表（1980年）
- ・天野可淡 初個展（1981年）
- ・恋月姫オールビスク作品発表（1996年）
- ・大分市美術館ほか4館で  
「四谷シモンー人形愛」展開催（2000～2003年）
- ・国立近代美術館工芸館で  
「今日の人形芸術—想念の造形」展開催（2003年）
- ・東京都現代美術館で  
「Dolls of Innocence 球体関節人形展」開催  
（2004年）

1949年  
～  
1968年

現代人形美術展  
（朝日新聞社主催）

2000年～

- ・United Federation of Doll Clubs が設立される  
（米・1949年）
- ・創作人形作家の組織である NIADA が  
UFDC から分離独立（米・1963年）
- ・レプリカと創作作家の組織である  
Global Doll Society が設立される（独/英・1982年）

## ロシア社会主義崩壊（1991年）

2010年頃よりロシアの人形展開催が活発になり、作家を多数輩出ようになる。近隣の東ヨーロッパ圏でも創作人形のイベントが始まる。